



一般社団法人

# 日本女性医学学会

The Japan Society for Menopause and Women's Health

学会ホームページはこちら



https://www.jmwh.jp

理事長：若槻明彦（愛知医科大学教授・産婦人科）

## 【本学会の目的】

更年期を中心とした実地臨床・病理および女性のライフステージに応じた健康管理の進歩・発展を図り、もって人類・社会の福祉増進に貢献すること

## 【本学会のあゆみ・特色】

1986年に発足した「産婦人科更年期研究会」が、「更年期医学研究会」「日本更年期医学会」と名称を変更しながら発展し、2011年に現在の「日本女性医学学会」になった。

更年期医学を追究し続けてきたことで培った**予防医学的観点**に立ち、**更年期を中心に思春期から老年期まで女性のすべてのライフステージにおける健康課題**に専門的かつ学際的に取り組み、**全女性のQOLの維持・向上に貢献**する学術団体である。



更年期医学会から女性医学学会へ名称変更

「女性ヘルスケア専門医」が日産婦サブスペシャリティに認定

本学会の会員は前身の時代より**産婦人科医師が中心**（現在も会員の約88%が産婦人科医師）ではあるが、産婦人科以外の診療科の医師、医師以外の医療者（薬剤師・栄養士・心理士・看護師・助産師・理学療法士など）や市民団体にも門戸を開き、**多職種協働**にて切磋琢磨している。

一方、わが国の「産婦人科学」において従来は周産期医学、婦人科腫瘍学、生殖内分泌学が3本の柱としてそれぞれの専門性を先鋭化し発展してきたが、「**女性医学**」を**第4の柱**と位置付ける機運が高まり、2014年には本学会が認定する「女性ヘルスケア専門医」が**日本産科婦人科学会の4つ目のサブスペシャリティ**に認定された。本学会への期待と関心の高まりが会員数の増加にも表れている。

## 生涯にわたる女性のヘルスケアを 多領域・多職種協働で

### 【本学会のおもな活動】

- 学術**
- ◆ 学術集会(年1回), ワークショップ(年1回)の開催
  - ◆ 学会誌(年4回)の編集・発行
  - ◆ 日本ナースヘルス研究 (Japan Nurses' Health Study; JNHS) に参画
    - ・ 2001年～約17,000人の前向きコホート
    - ・ 女性に特有な心身にまつわる疾患について予防医学の観点からエビデンスを創生・発信
  - ◆ ホルモン補充療法データベースの構築
  - ◆ 「女性医学ガイドブック」の編集・発行
  - ◆ HRT(ホルモン補充療法)ガイドライン, OC・LEP※ガイドラインの編集・発行
  - ◆ 国際閉経学会(IMS), アジア太平洋閉経学会(APMF)との連携
- ※避妊用ピル・治療用ピル (oral contraceptives/ low dose estrogen-progestin)



### 社会啓発

- ◆ 女性のヘルスケア研修会
  - ・ 医師および医療スタッフを対象とし実地臨床に主眼をおいたセミナー
  - ・ 受講者による各地域での公開講座開催など「地域への還元」も考慮
- ◆ メノポーズ週間事業（毎年10月18日～10月24日）
  - ・ 更年期についての適切な情報を社会に広く発信
  - ・ Youtubeチャンネルを開設し、更年期解説動画を公開



### 他学会との連携

- ◆ プライマリケア連合学会：合同シンポジウム開催
- ◆ 日本循環器学会・日本動脈硬化学会：「女性の動脈硬化性疾患発症予防のための管理指針 2018 年度版」を 発刊
- ◆ 日本骨代謝学会・日本骨粗鬆症学会・骨粗鬆症財団：「女性骨粗鬆症の予防と治療のための管理指針（仮称）」の発刊を計画中
- ◆ 日本医学会：「領域横断的なフレイル・ロコモ対策の推進に向けたワーキンググループ」に参画